

分 類 学

ボルネオ産 *Chordodes* 属ハリガネムシ (*Gordiacea*) について

井上 巖 (東京学芸大学生物学教室)

Two specimens of the genus *Chordodes* (Gordiacea) from Borneo

Borneo の *Chordodes* 属ハリガネムシは6種知られている。講演材料は写真家浜野栄次氏御提供の♂♀各1で、採集地 Ranaw。1972・Ⅲ・16, 宿主カマキリ。

♂: 体長 110, 最大体径 0.9 mm, チョコレート色, 前端淡黄白・半透明。Neck-Ring 無く, Ventral Line あり。クチクラ: 6種の乳頭あり。(1) 最も高く且つ大型, 円柱状 (頂径19~22, 高さ22~32 μ) 2個ずつ対をなして散在, 頂部周辺より放射状に短毛を生ず。(2) 前者各対を囲み8~12個で群をなす・高丘状~指状 (基部径8~14, 高さ17~25 μ)。(3) 散在する前2者の乳頭群間を埋める様に生じ, それぞれ多くの粒状突起をもつ丘状乳頭 (径9~15, 高さ8~17 μ)。(4) 前者の間に散在する低丘状乳頭 (径10~14, 高さ3~5 μ)。表面観は角の円い不規則多角形。(5) 散在する単立の低乳頭で25~35 μ の1棘を生ず。(6) 単立の低乳頭で8~15 μ の指状突起1を生ず。*Ch. silvestri* に近い。

♀: 体長 194, 最大体径 1.5 mm, 体は淡黄褐色, 前端淡黄白・半透明。Neck-Ring 無く, V. Line あり。クチクラ: 6種の乳頭あり。(1) 最も高く且つ大型, 円柱状 (頂径20~27, 高さ21~30 μ), 2個ずつ対をなして散在, 頂部周辺より放射状に長毛を生ず。(2) 前者の各対を囲み18~24個が群をなす。高い丘状~指状 (基部径8~18, 高さ15~22 μ)。(3) 円丘状乳頭, 2~3個ずつで小群をなして散在 (径8~14, 高さ10~15 μ)。(4) これ迄の乳頭群間を埋める様にあり, 低丘状で最も多い (表面観は楕円形, 長径9~16, 高さ5~7 μ)。(5) 乳頭間に散在する単立の低乳頭で長さ22~35 μ の1棘を生ず。(6) 単立の低乳頭で7~13 μ の1指状突起をもつ。*Ch. japonensis* に近い。

陸生ソコミジンコについて

菊地義昭 (茨城大学理学部付属潮来臨湖実験所)

On the terrestrial harpacticoid copepods from Japan

YOSHIAKI KIKUCHI

ヨーロッパでは, GURNEY(1932) がアイルランドの落葉堆積物から, REMY(1936) がフランスから陸生ソコミジンコを報告している。又, HARDING(1958) はニュージーランドのブナ林の leaf litter からケンミジンコとともに見出ししている。

日本では, 青木(1973) によると1966年東京都下の高尾山で見つかったのが最初で, その後 IBP で行った志賀高原のコメツガ林の土壌からも発見された。最近では演者が群馬県赤城山・茨城県北浦近くの松林・山梨県奈良田温泉近くの雑木林で, 又, 田村が水戸市近郊の松林・北海道羊蹄山でも見つけている。採集地は低地から1800mまでとさまざまであるが, 土壌中よりは leaf litter にすんでいると思われる。

日本産では, *Epactophanes richardi*, *Moraria* sp. および未同定の計3種である。*E. richardi* は体長, 0.35 mm で円柱状, nauplius eye はかすかにある。この種は♂の第3脚内肢が特異な形態をしているのが特徴である。*Moraria* sp. は前種より少し大きく体長, 0.43 mm, ♂第2脚内肢に三角形の突起物があり第5脚の setae も特異である。他の1種は大型で体長, 0.53 mm 紡錘形, 時々体外寄生虫が付着しているのが観察された。これら3種は他の水生種に比較して共通にいえることは付属肢が小型化する傾向が見られた。例えば同じ科に所属する *E. richardi* と *Elaphoidella* sp. (水生種) について, 外肢長/体長 $\times 100$ を比較すると前者は7.4~9.6, 後者は9.1~18.5 である。これは陸生種は遊泳肢から歩脚へと機能の変化に伴う適応の結果と思われる。